

令和8年3月31日
大東市長 様

令和7年度提案公募型委託事業に関する報告書

団体名：のざフェス
事業名：のざフェス2025

1. 実施内容
2. 事業の報告（イベント等の写真を付けてください）

1. 実施内容

2 月	出店者の募集開始、PR 活動開始。
3 月	出店者募集、PR 告知（SNS 等）、その他事務作業。
4 月	PR 告知（SNS、チラシ配布、ポスター貼り協力のお願ひ）、 その他事務作業。
5 月 4 日	来ぶらり四条（グラウンド）にて「のぎフェス 2025」を開 催。飲食・物販・体験ブース、縁日企画、

2. 事業の報告

計画した事業

(A) 地域イベント「のざフェス 2025」の開催

来ぶらり四条（グラウンド）を会場に、飲食・物販・体験ブース、縁日企画、抽選会、ステージ企画等を実施し、幅広い世代が参加できる地域イベントを開催しました。

(B) 広報活動の実施

野崎参道商店街を中心とした周辺店舗・施設へのポスター掲示、チラシ配布、Instagram 等の SNS 発信を行い、イベントの周知拡大を図りました。

(C) 回遊・滞在促進のための会場運営

マルシェ体験ブースや飲食ブース、休憩スペース、抽選会参加導線を設けることで、会場内の回遊率と滞在率の向上を図りました。

計画時の期待する効果

- 1 地域ににぎわいを創出し、野崎参道エリアの活性化につなげる。
- 2 子どもから大人まで幅広い世代が楽しめる場をつくり、会場内の滞在率・回遊率を高める。
- 3 紙媒体と SNS を活用して認知度を高め、今後の継続開催につながる基盤をつくる。

結 果

(A) イベント開催の結果

当日は、ハンドメイド・体験 25 店舗、キッチンカー 9 店舗、企業ブース 4 店舗、合計 38 店舗が出店しました。来場者数は約 3,200 人となり、目標としていた約 3,000 人を上回る集客となりました。多世代が参加する地域イベントとして、にぎわい創出という当初目的を達成できたと考えます。

(B) 広報活動の結果

ポスター 200 部、チラシ 3,000 部を配布・掲示し、あわせて Instagram 等で継続的に情報発信を行いましたその結果、フォロワー数は 0 人から 642 人に増

加し、広告リール閲覧数は 20,723 回、リーチ数は約 9,300 人となりました。紙媒体と SNS を組み合わせた周知施策により、イベント認知の拡大に成果が見られました。

(C) 回遊・滞在促進施策の結果

抽選会参加人数は約 350 人で、来場者が複数ブースを回遊する仕組みとして有効に機能しました。また、飲食テーブルやテントを設置したことで、会場内で休憩しながら滞在できる環境が整い、滞在率向上に寄与しました。体験型マルシェの導入も、来場者の滞在時間の確保に効果があったと考えられます。今後の課題としては、会場内で完結しがちな回遊導線の改善、周辺地域外への認知拡大、継続開催に向けた運営体制づくりが挙げられます。今後も継続的な開催を通じて、野崎参道エリアを中心としたにぎわい創出へつなげていくことが期待されます。

